

アルバトロス

進化する足場

<http://www.inao-sangyou.co.jp/>

平成27年改正
安衛則対応

認定合格品
仮設構造等承認
仮設工業会 単品仮設機材等承認

国土交通省新技術情報提供システム

NETIS登録
KK-150002-A

茨城県土木部IT'S登録
積極活用技術B-18078

進化する足場

Feature

安全と施工性の追求によって生み出された新発想の足場。
安全性・作業性・拡張性はもちろん
耐久性や信頼性にも優れたアルバトロス。
現場の工期短縮とトータルコストダウンを実現します。



安全性

高強度、高信頼性の緊結部

8mm厚のプレートと白心可鍛鉄の布材金具

くさびは2〜3回の打込みで十分な緊結力が発揮され、また振動などの予測外の力にも強い構造です。

布材のコの字金具には靱性に優れた白心可鍛鉄を採用。緊結力、耐久性、施工性にベストな形状が実現されました。



安全性

頑丈設計。経年使用にも安心

繰返し使用による摩耗に強く、
長年使っても安心の設計

アルバトロスの緊結部は経年使用で繰返し使っても必要な緊結強度が維持されるように設計されています。

強靱さだけでなく耐摩耗性能も要求されるプレートは8mm厚を採用。曲がりにくく耐久性も向上しました。



作業性

広い作業スペースの 快適空間を提供

内側に邪魔な補強がなく、
1層高さは1800mm

1層の高さは1800mm。男女含めた日本人の体格に最も適した高さです。通行と建物の施工作業の両方に快適な環境を提供します。もちろん足場の組立・解体にも最適の高さです。

足場内部に補強がないため900幅で枠組足場1200幅と同じ広さの感覚。



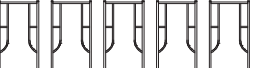
作業性

施工性大幅アップで作業コスト削減

架設・解体作業がスピードアップ

効率的で安全な手すり先行工法が標準仕様なため、先行手すりと筋かいの取り付けが同時にできます。組立時はもちろん、解体時に特に大きな工数削減が実現されます。基準層の支柱は2層分高さのL3600mmタイプもあります。

■ 足場設置コスト比較表（2015年 大手レンタル会社のデータによる）

	アルバトロス	枠組＋先行手すり枠
労務費	 約50%減	
資材費	 約5%増	
運搬費	 約40%減	
総費用	 約25%減	

（現場条件等により異なる場合があります）



安全性

手すり先行工法が標準仕様・標準工法 （改正安衛則適合品）

先行手すりが標準部材。効率的に安全工法が守られます

従来の枠組足場と異なり、先行手すりが標準部材となっており、筋かいの機能も有しています。作業効率に優れた手すり先行工法が高い安全性を約束します。

工事内容に応じ、布材を手すり、中さんとして建物側に設置することも可能です。



作業性

部材は軽量・コンパクト

軽量・省スペースで現場の効率化、輸送コストも削減

支柱は建枠に比べコンパクトな形状。
組立・解体時の仮置きも小さなスペースで可能です。

幅をとる部材がないため、マンホールや仕上げの狭い戸口からの出し入れが容易です。

枠組足場の手すり先行工法と比べ単位面積当たりの重量は大幅減。
輸送コストの削減が図れます。



作業性

枠組足場の簡単さと単管足場の自由さ

簡単手順で組み方自由自在

建地から布・コロバシは四方に伸ばせますので入隅・出隅の多い躯体にも枠組足場のように縁を切ることなく、X方向・Y方向に足場を連続させたまま設置することが可能です。

建地（支柱）と布・コロバシはくさびの打込みによりしっかりと緊結されます。ラチェットレンチでの大量のクランプ締めが必要だった単管足場と比べ工数大幅に削減されます。

GLでレベルと通りを出せば後は枠組足場のように手順通り組立てるだけ。単管足場のように継ぎ足すパイプの長さを考えたり、各層ごとにレベル・鉛直を調整する必要がありません。



作業性

突起や隙間のないワイドなステージが簡単に

支柱の連結ピンはワンタッチで取外し可能

床付き布枠は支柱部をまたいで掛けることができ、突起や隙間のない広いステージが簡単に設置できます。

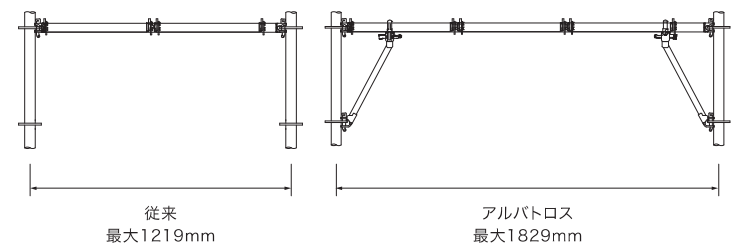
支保工として使うときは大引受ジャッキを直接挿入することが可能です。

ステージの外周には先行手すり・二段手すりが簡単に取付けられます。



従来のステージ(棚足場)は足場板を掛けるコロバシ材(腕木)は1219mmまでしか使えませんでした。オプション材の強化方づえを使用すると最大1829mmまで可能になります。

支柱や布材等、部材の節約になるとともに組み手間も大きく削減できます。



拡張性

アルバトロス

安全性 作業性

多目的+3D

内部・移動式・構台・曲面・支保工

Multi-purpose

アルバトロスは手すり先行工法の安全な足場というだけでなく、工事・工法の多彩な要望に同じ部材で多様に応えることができます。もちろん組立て解体は手すり先行工法。安全と効率化の両立が図れます。



拡張性

マルチパーパス

支柱、布材、先行手すり、この3種類の基本部材の組合せと、それに若干のオプション材・周辺機材を組合せるだけで、実に多様な目的に使うことが可能です。

作業目的の足場、ステージとしてはもちろん、同じ部材で荷受構台や支保工と、現場の工程・局面に応じ多目的に使えます。



拡張性

3次元的組立

アルバトロスの枠組足場と異なる大きな特長、それは支柱を中心に、布材、先行手すり、布板を90度毎に4方向に組み立てていくことができることにあります。さらには縁を切ることなく曲面に対応できる専用部材もあり今までに考えられなかった足場へと発想を広げることができます。

先行手すりを兼ねた筋かいがX・Y両方向に取り付けられことによって、立体的で安定した構造を自由な寸法で組み立てることが可能です。



拡張性

作業スペース下に大きな空間の確保が簡単

アルバトロスには梁枠、荷重受け梁や強化方づえを用いて必要な場所に作業ステージを設け、下部空間にスペースを設け通路や材料置き場等にするための機材が豊富です。



拡張性

大平面の移動式ステージも簡単

従来は軽天作業台を連結して行っていた天井の設備工事や仕上げ作業にも使用可能。軽天作業台の届かない高さにも縦横必要なサイズに合わせて組立てできます。

全ての部材はコンパクトサイズで小さな部屋内の作業にも適し、解体した部材の搬出は乗用エレベーターでも簡単です。



作業性

単管・クランプを大幅に削減

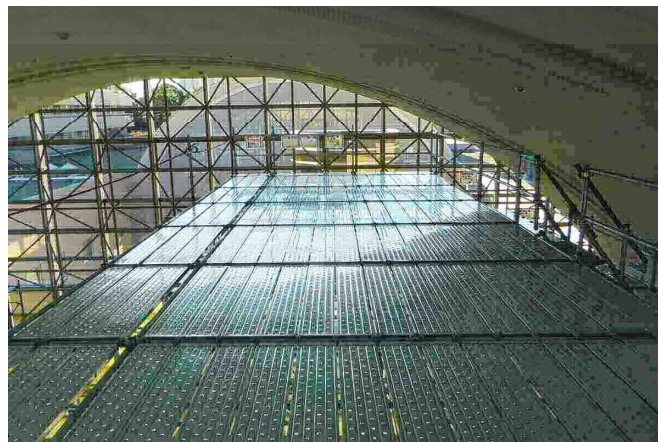
単管足場はもちろん、従来の枠組足場では3次元的な構造や曲面への対応は、枠組の各列をつないで一体とするために大量の単管とクランプが必要でした。

アルバトロスの3次元構造は布材と先行手すりを支柱プレートの直交方向に取り付けていくだけ。単管とクランプを大幅に減らせるとともに、組み手間も大きく減らすことができます。

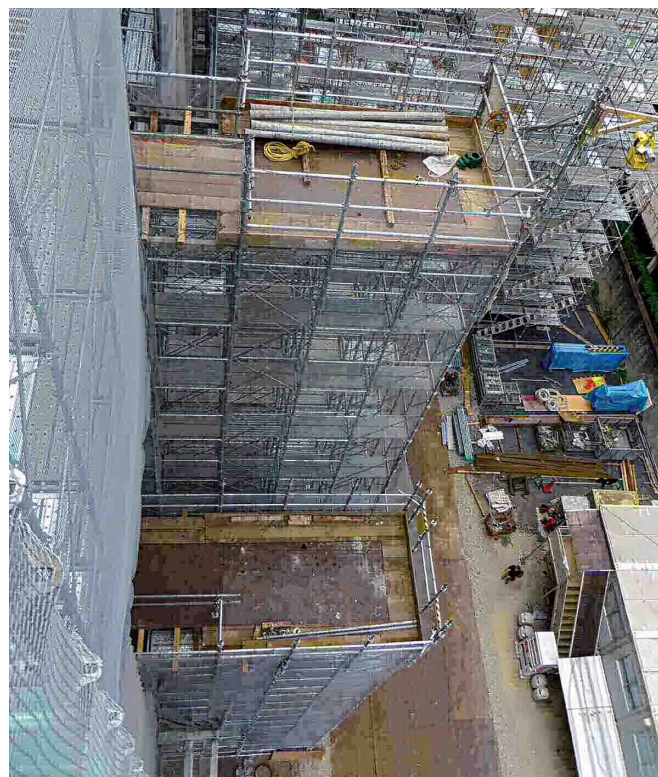
※ 計画や組み立てにあたっては各用途の組立基準・使用基準に従って正しく行ってください。また必要に応じて強度計算を行い、安全性を確認して設置してください。



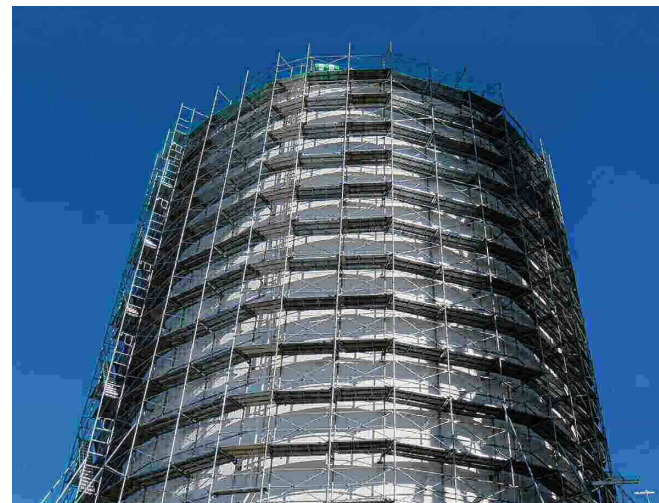
アルバトロスの支保工。くさび式の専用システム支保工と同様にX・Y方向に自由なピッチで割り付け可能。さらに支保工も安全な手すり先行工法で組立・解体が可能に。



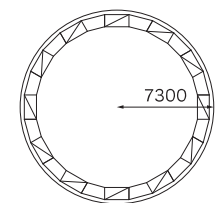
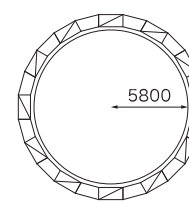
アルバトロスの支柱は連結ピンを取り外すとステージがフラットに。また、支柱プレートを跨いで床付き布わくを敷設できるので、隙間のない設置が可能。
※写真は組立て作業中



物流倉庫工事にてスラブにレベルを合せて設置したフォークリフト用の荷取り構台。敷鉄板敷設。大引受ジャッキを使用しても外周に手すりを簡単に設置することが可能。



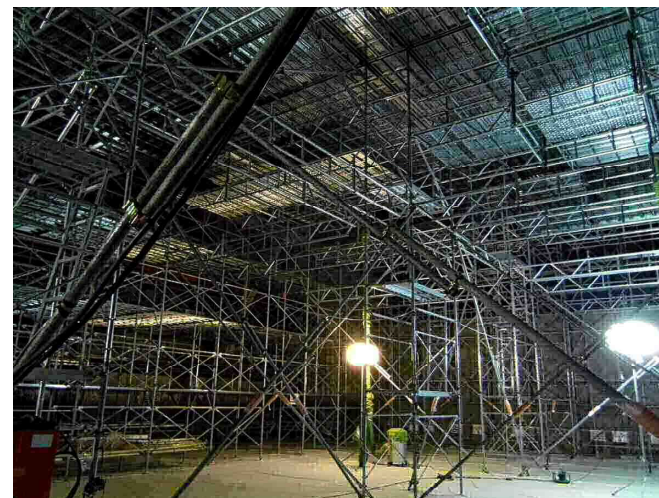
LNGタンクに設置したアルバトロスの円形足場。専用の円形足場用先行手すり、伸縮手すりを用いることによって全て手すり先行工法で組立解体が可能。



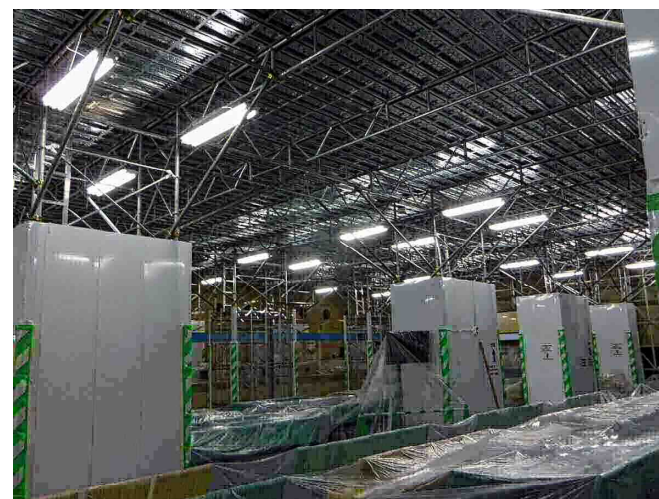
最小設置可能直径 (mm)

タンク外径 11.6

タンク内径 14.6



養生用の仮天井の上部状況。上側の天井作業用ステージまでの空間も広々。



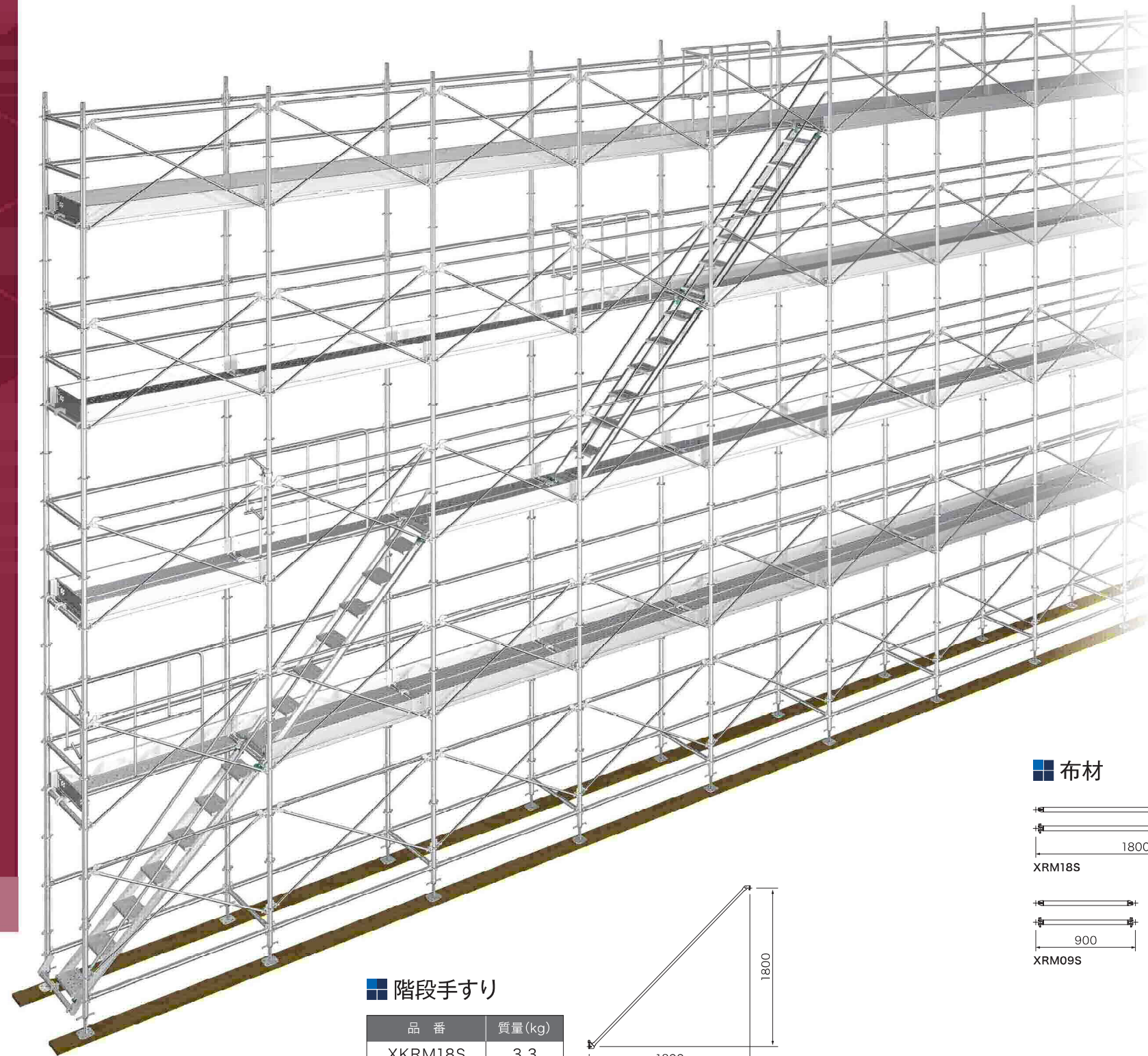
営業しながらホールの天井を改修する工事。支柱4本による柱部分を除けば大きな空間を残すことが可能。工事用のステージの下に養生用の仮天井を設置。

※ 一部試験施工の内容を含みます。

足場の構成

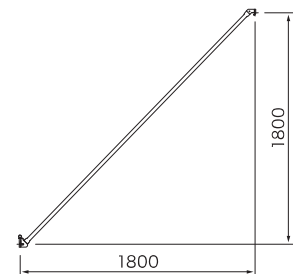
基本部材

Structure

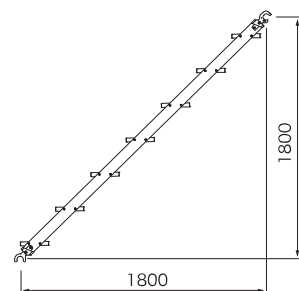


■ 階段手すり

品 番	質量(kg)
XKRM18S	3.3

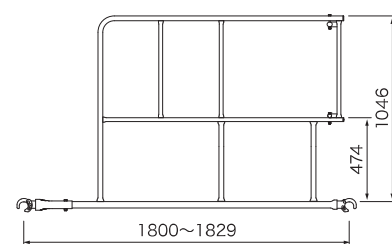


■ アルミ階段



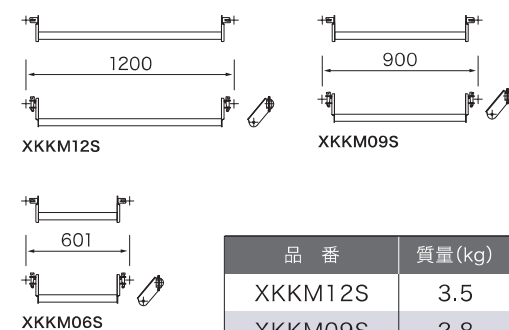
品 番	質量(kg)
ALKM18U	10.5

■ 開口ガード



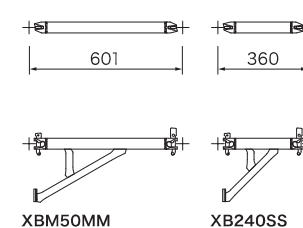
品 番	質量(kg)
XKS6A	14.0

■ 階段受け



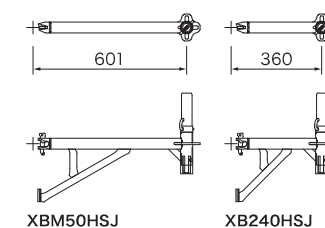
品 番	質量(kg)
XKKM12S	3.5
XKKM09S	2.8
XKKM06S	2.1

■ 先端くさびブラケット



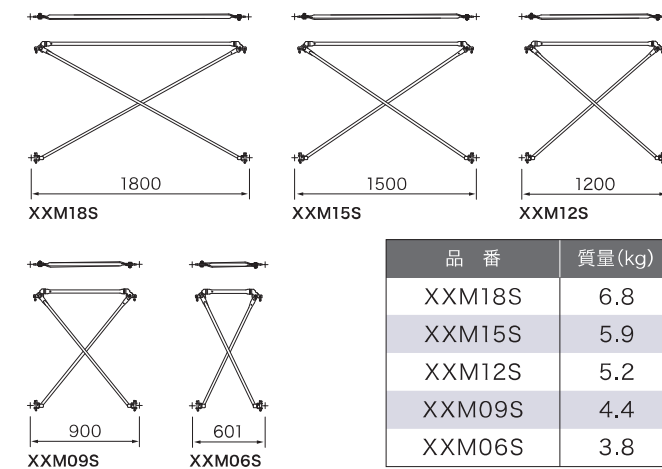
品 番	質量(kg)
XBM50MM	2.3
XB240SS	1.6

■ はね出しブラケット



品 番	質量(kg)
XBM50HSJ	3.8
XB240HSJ	3.1

■ 先行手すり



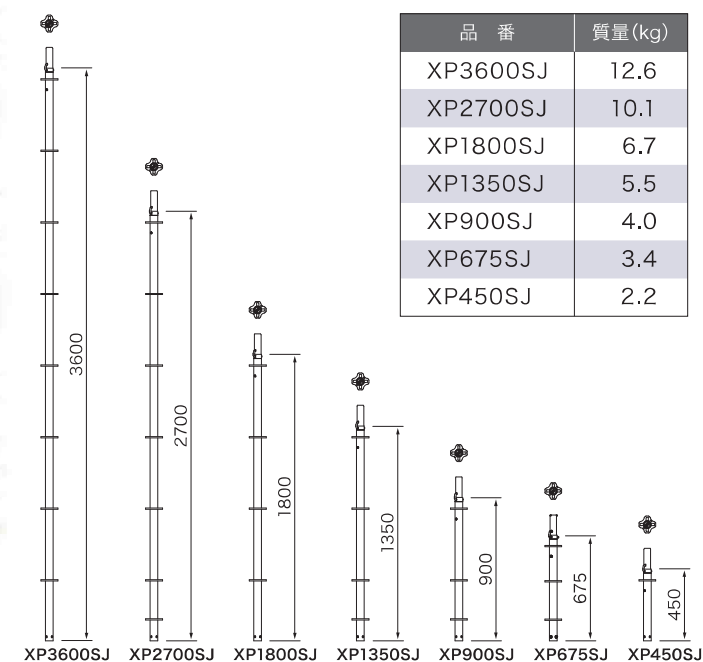
品 番	質量(kg)
XXM18S	6.8
XXM15S	5.9
XXM12S	5.2
XXM09S	4.4
XXM06S	3.8

■ 本足場時の積載荷重(標準組みの場合)

1層1スパンあたり	
同じ層での積載が連続スパンになる場合	250kg
同じ層での積載が連続スパンにならない場合	400kg

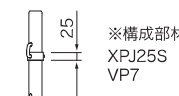
- 足場の幅600mmの場合、500幅の床付き布枠を使用すること
- 同一スパン内の積載は2層までとする
- 積載荷重は積載する床付き布枠の許容荷重を超えないこと
- 梁枠で構成された開口部上方の足場の全積載荷重は800kgまでとする
- 足場には最大積載荷重を表示すること

■ 支柱



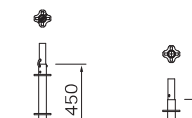
品 番	質量(kg)
XP3600SJ	12.6
XP2700SJ	10.1
XP1800SJ	6.7
XP1350SJ	5.5
XP900SJ	4.0
XP675SJ	3.4
XP450SJ	2.2

■ 連結ピン



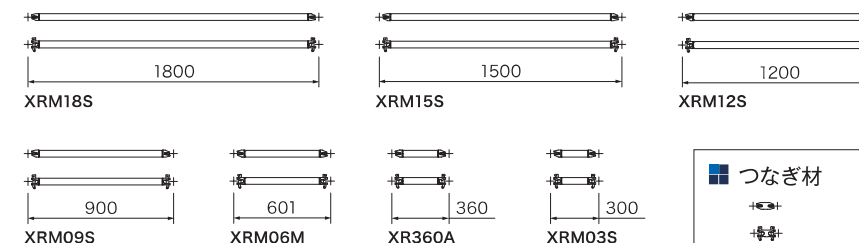
品 番	質量(kg)
XPJ25SS	0.9

■ 根がらみ支柱

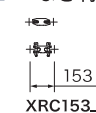


品 番	質量(kg)
XPN450S	2.3
XPN225S	1.4

■ 布材



■ つなぎ材



品 番	質量(kg)
XRM18S	4.3
XRM15S	3.7
XRM12S	3.0
XRM09S	2.3
XRM06M	1.6
XR360A	1.2
XRM03S	1.0
つなぎ材 XRC153_S	0.6

単位:mm

足場の構成

周辺部材

Peripherals

実際の現場で実用的な足場を設置するためには、基本部材のみだけではなく、多様なニーズに応じる豊富な周辺部材が必要です。アルバトロスには、枠組足場を上回る豊富な種類の周辺部材があります。もちろん安全や強度に関わる部材は、仮設工業会の認定や承認を取得済み。明日からでもすぐに実用的な足場の設置が可能です。

■ 梁 枳

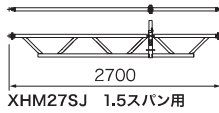
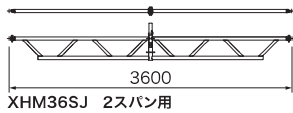
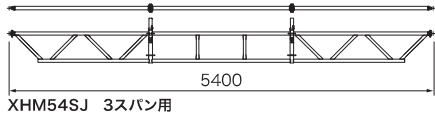
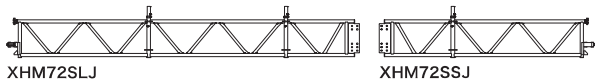
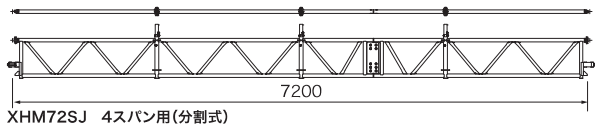
梁枳は布材と同じように支柱プレートに直接緊結。

隅梁受けや梁渡しは不要です。

梁枳には支柱を挿すことが可能で手すりも簡単に取付けられます。

梁枳はスパン方向のみでなく、梁間方向にも取り付け可能。

外部足場の開口だけでなくステージングや安全通路にも用途が広がります。



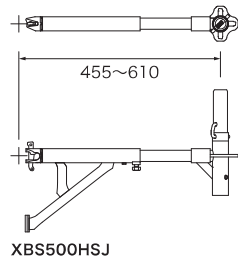
品 番	質量(kg)
XHM72SJ	73.3

※出荷時、XHM72SLJ(2.5スパン)、XHM72SSJ(1.5スパン)に分割されて出荷。
連結用パーツはXHM72SLJに付属。

品 番	質量(kg)
XHM54SJ	36.5
XHM36SJ	21.9
XHM27SJ	17.5

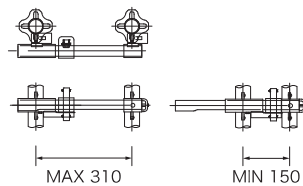
※梁枳を設置する場合は必ず組立基準・使用基準をお読みください。

■ 伸縮ブラケット



品 番	質量(kg)
XBS500HSJ	4.3

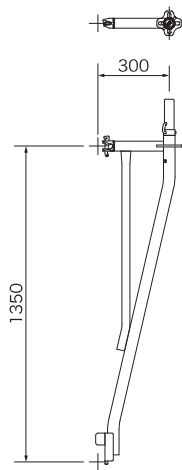
■ 伸縮手すりオフセット型150~310



品 番	質量(kg)
XRL310S	2.4

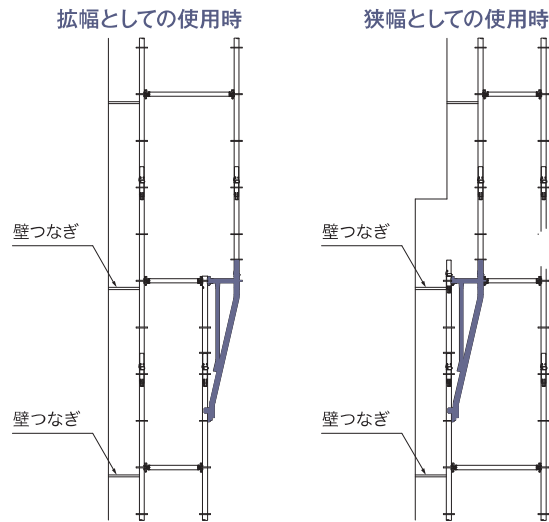


■ 拡幅狭幅兼用ブラケット



品 番	質量(kg)
XPCM300SJ	8.1

■ 拡幅狭幅兼用ブラケットの使用例



拡幅狭幅兼用ブラケットは独自の発想により1種類で拡幅と狭幅のどちらにも使用可能。

従来のくさび緊結足場の拡幅は下からの支柱をそのまま拡幅上にも伸ばす必要がありましたが、アルバトロスの拡幅狭幅兼用ブラケットは、拡幅された足場を幅いっぱい有効に使うことができます。

もちろん単管・クランプの追加補強も不要です。

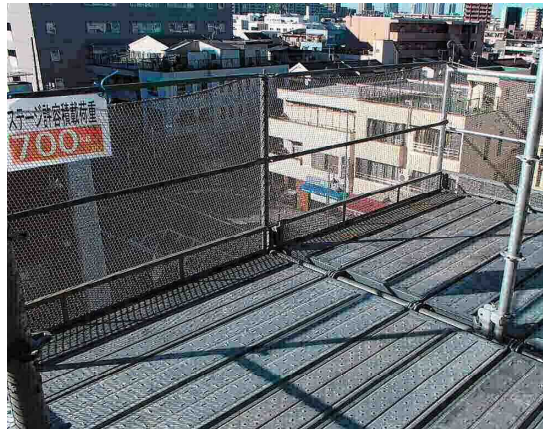
※拡幅狭幅兼用ブラケットをコーナーの支柱に2方向に取り付けることはできません。

■ アルミ朝顔(落下防護棚) 仮設工業会システム承認



アルバトロスは金具のみ専用金具に替えるだけで枠組足場用のアルミ朝顔が使用可能。

■ 荷受けフォーム 仮設工業会システム承認



アルバトロスはRC工事の必需品、ユニット式の専用荷取り・荷出しステージも品揃え。

型枠材料の盛替え、仕上げ材の搬入も簡単です。枠組足場用と同様、もちろんクレーンを使って丸ごと上層階へ転用可能です。最大3スパンまで設置可能です。

くさび緊結式足場は枠組足場とは異なる構造上の特徴があるため、枠組足場用のユニット式荷受けステージをそのまま取り付けることはできません。アルバトロスの荷受けフォームは数多くの荷重実験と改良を重ね、くさび緊結式足場に安全・安定して使えるシステムとして開発されました。



偏芯荷重に鉛直荷重加えた過酷な実大実験
仮設工業会東京試験所

拡張性

アルバトロス

安全性 作業性

多彩な
拡張性

Augmentability

アルバトロスの大きな特長は、その拡張性と発展性にあります。シンプルで基本システムだからこそ、現場の多様なニーズへの拡張・発展が可能です。



拡張性

大組み・大払しでさらに安全性と施工性アップ

信頼性と施工性に優れた大組みブロック

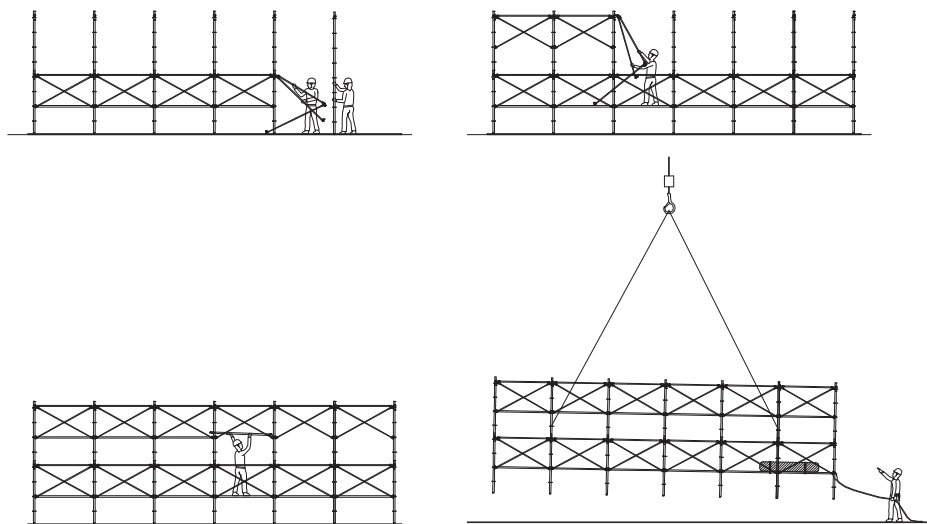
足場ブロックを、L3600mmの支柱で2層(最大6スパン)ブロックとし、地組みで高所作業を大幅に減らすことが可能となります。もちろん取り付け側でもつぎ目となるスパンは手すり先行工法で安全に部材を組み立てることが可能です。



アルバトロスでつくられたブロックには高い剛性があるため吊り上げ時のたわみや両端の垂れもほとんどありません。さらには連結ピンが溶接で固定されていないため、吊ったブロックの支柱挿入がスムーズに行えます。

アルバトロスの支柱プレートは頑丈。吊りフックや長シャックルを直接支柱に掛けることが可能です。

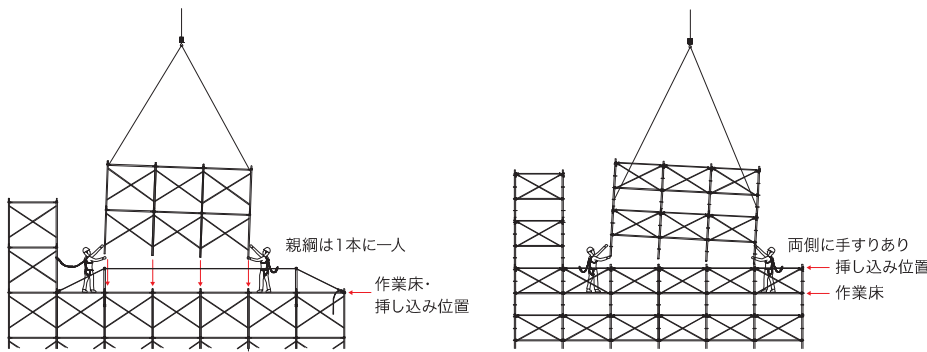
アルバトロスの作業床は1層分の支柱長さの中間部に位置し、また上層の手すりは手すり先行工法で取り付けすることができます。このため部材取付作業は地上と高さ約1mの作業床上から全てを行うことが可能です。



アルバトロスのブロック地組み手順

枠組足場の枠組工法は足場取り付け側は作業床より上にまだ建枠や筋かいがなく、取付け作業には親綱等の別途墜落防止設備が必要です。この場合、親綱1本には1名の作業員しか安全帯を使用することができません。

また据置き型手すり枠の枠組足場においても、建物側にはまだ手すりがなく安全帯の常時使用が必要です。支柱の継ぎ位置も足元であるため、挿入作業も立ったり屈んだりする必要があります。



枠組足場のブロック取付け

アルバトロスのブロック取付け

これに対しアルバトロスの大組工法はブロック取り付け位置の作業床にはすでに手すりのある状態となっており、より安全かつ効率的にブロック取り付け作業を行うことが可能です。支柱の継ぎ位置も腰の高さであるため、挿入作業も立ったまま容易に行えます。



拡張性

強化方づえを使ってさらに多様なニーズに対応

独自の発想のマルチな部材。くさび緊結式足場の弱点であった梁間方向の剛性を大幅にアップさせ支柱の座屈強度を上げることができ、揺れや水平力にも強くなります。

コンパクトな形状でも支柱の許容支持力12.5kN → 最大23.5kNに大幅アップ!!※1(本足場・両面先行手すり)

強化方づえは支柱と布材を同時に簡単に補強できる独自の専用機材です。

ステージ(棚足場)の腕木の補強のみならず、強化方づえを取り付けることで支柱の座屈強度を大幅にアップすることが出来ます。しかも取り付けはハンマー1本でワンタッチ後付け可能。

床付き布枠の掛かった状態でも簡単に取り付けでき、必要な部分、必要な期間だけ強化を行うことが可能です。足場の部分的補強、通行しやすい支保工、棚足場、ローリングタワー、さらには50~60m超えの超高層足場の支柱補強と多彩なニーズに応えることができます。

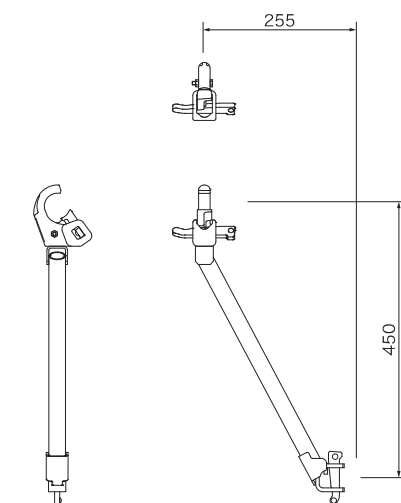


腕木強化の荷重試験



支柱強化の荷重試験

強化方づえ



通常の布材に後から取り付け可能、床付き布枠の掛かった状態でも簡単に取り付けられます。

型 式	質量(kg)
XG2545S	1.5



床付き布枠を掛けた状態でもハンマー1本で簡単に着脱可能

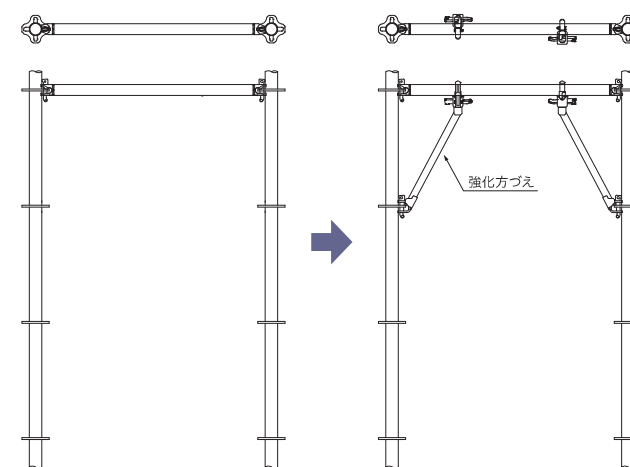
1 高層足場で部分的な補強が必要な場合も強化方づえで簡単に支柱強化。 仮設工業会システム承認

地上よりの最上部が31mを超えた場合、従来は超えた高さ分の足場下層部を単管・クランプで2本組にする面倒な補強が必須でした。これが、平成27年7月1日の労働安全衛生規則改正により、支柱が強度を有する場合は組上げられる高さ特に制限がなくなりました。

アルバトロスは1支柱の許容座屈強度が12.5kNあり、基本部材のみで構成される通常スパン部は支柱の補強なしで45m以上の足場設置が可能です。※2

ただし、梁枠開口を支持する支柱や階段設置部、荷取りステージ等の取り付け部は部分的に支柱の強化が必要になります。アルバトロスは強化方づえの取り付けにより簡単にこの補強を行うことが可能です。しかも床付き布枠を掛けた状態でも簡単に取り付け可能ですので、RC・SRC新築工事等では躯体の進捗に応じて必要な時点からの取り付けも可能で経済的にも優れます。

見た目もすっきりし、メッシュシートや壁つなぎを既に取り付けた支柱でも簡単に取り付けられ、コンパクトな形状で600mm幅の足場でも通行に支障をきたしません。1種類の強化方づえで全ての足場幅に取り付けできるので便利うえ、在庫負担も少なくすみます。



※2 足場の条件等により若干の差があります。

単位:mm

2 棚足場 仮設工業会システム承認

縦横自由自在。立体的に組める自由がもう一つのメリットです。

ステージングを置く場合に枠組足場の建枠は1方向にしか組み進められないため梁間方向は単管・クランプで連結するしかありませんでした。

アルバトロスは90度4方向に布材や先行手すりを取り付けられるため立体的な組立てに優れます。

もちろん単管・クランプの大筋かいは不要です。

さらにはアルバトロスの支柱は450mmピッチでプレートがあり、その任意の高さで腕木を取り付けることができます。

このことにより布材、先行手すりを4方向に組み立てられるとともに、内部足場の作業床のレベルを屋根や天井の形状に合わせて雛壇状に設置することが可能になります。

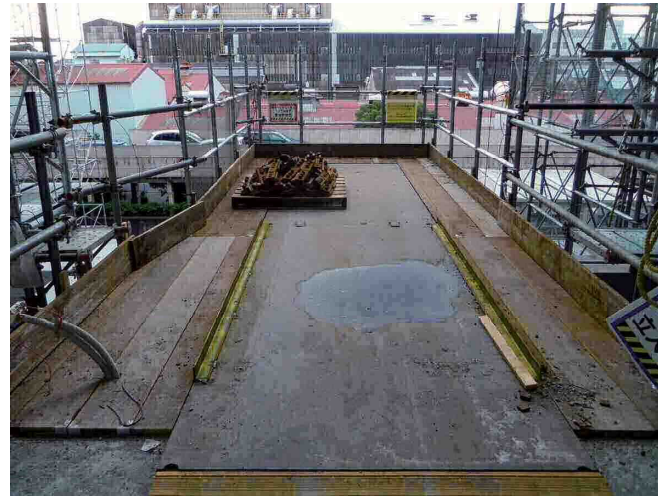
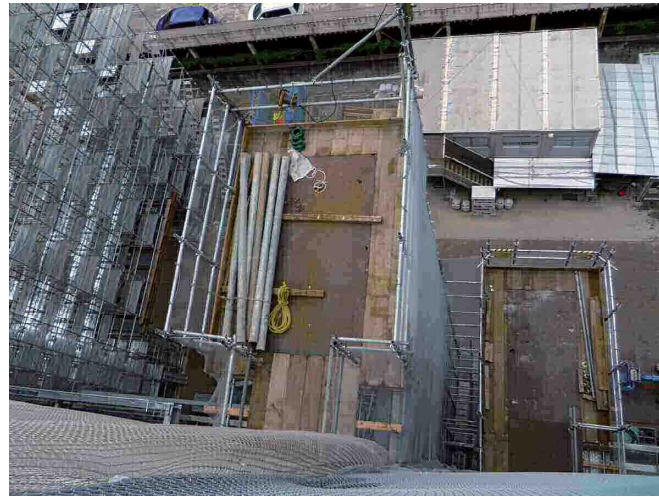


天井の曲面に合わせて雛壇状にも設置可能

3 構 台

アルバトロスは最大1支柱33.5kNの支保工としても使用可能。荷取り・荷出し構台を足場と連結させて設置することが可能です。物流倉庫等の屋根材フォーミング機の据え付けや、フォークリフト用の荷取り構台としても十分な能力があります。もちろん天端に布板(床付き布わく)を敷詰めればそのまま軽量荷取り構台としても使えます。

※ アルバトロスの構台には移動式クレーンやハイユニックレーン等のブームを有する揚重機器の設置はできません。



構台の天端の高さをスラブレベルに合せ、フォークリフト用の荷取り構台とした例。

構台床の敷鉄板の大引として100角鋼管を利用。全ての支柱に大引受ジャッキを装着しても、外周部には支柱・布材で手すりを設置することが可能です。

支柱の設置ピッチや床材、天端の大引・根太の種類を変えることによって軽量級から中量級まで目的用途に応じた多彩な構台をつくる事が可能です。しかも、つなぎの単管やクランプはほとんど不要ですので組立作業も効率的です。



梁枠併用で広い開口確保

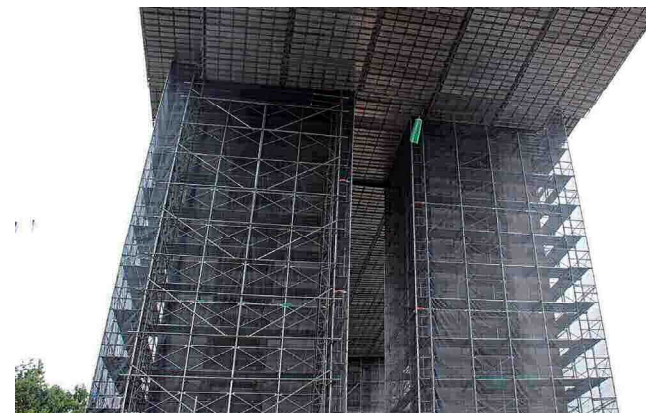
施工実績 Gallery



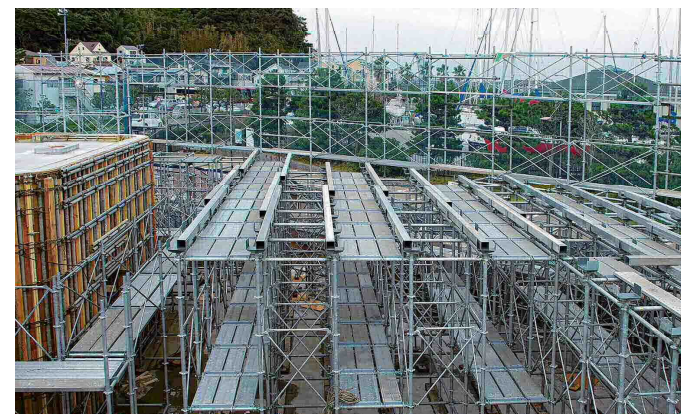
大規模物流センター 長大躯体でも大組み・大払いで効率的な施工が可能



ショッピングモールの内部吹抜け 円形用足場はRの内側にも設置可能



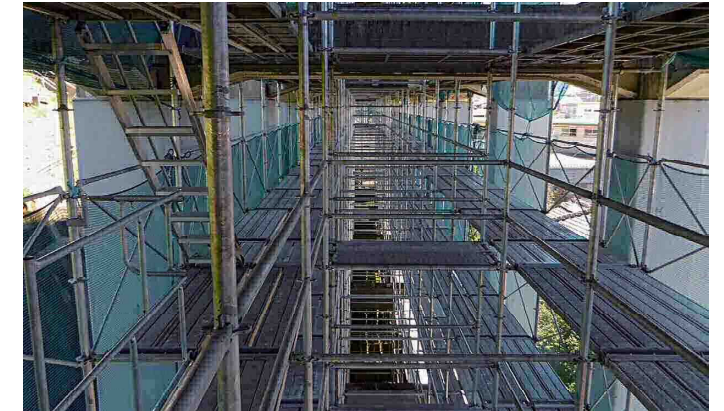
高速道路橋脚 上部工のつりだな足場SKパネルと組み合わせて設置



支保工 支保工も手すり先行工法で安全組立て



高さ80メートル超のタワーマンション 強化方づえ使用 B2階からの立ち上がりの足場部分は最高高さ約90メートル



新幹線高架下の点検用通路 横断方向の中間梁があっても回避して設置可能 手すり付きの昇降階段・左右間の渡り通路も自在に設置



支保工のステージ 作業床は段差なく手すり付き昇降設備も容易 在来型枠支保工と組合せて設置し、存置期間後は設備工事用のステージとしても無駄なく利用可能

足場基底部・1層目

- 1

① 敷板の設置

基礎の支持力が十分であることを確認します。
- 2

② ジャッキベースの配置

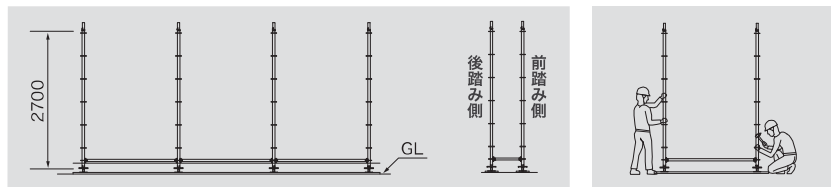
敷板に釘等で固定します。
- 3

③ 支柱の設置

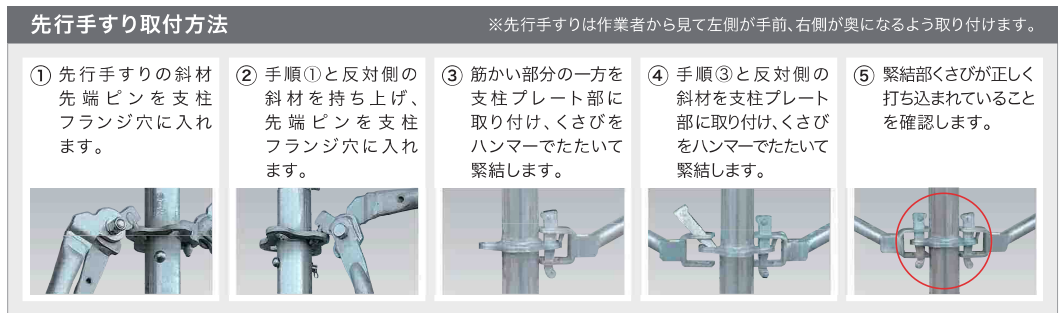
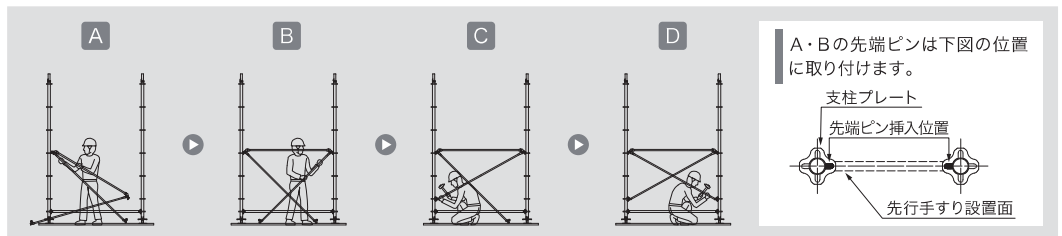
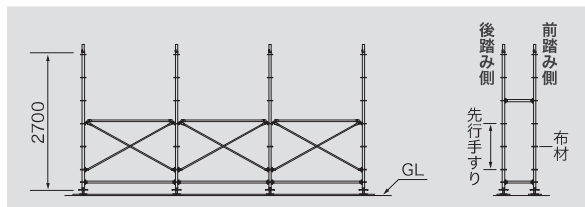
最下層の支柱は根がらみプレートのある2700、1350、900を使用します。
- 4

④ 根がらみ(布材)の設置

布材を軽く打ち込み水平器でレベルを調節します。
緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。



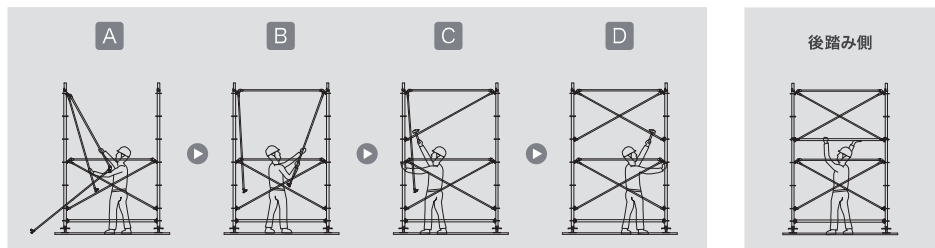
2 ⑤ 足場の後踏み側の桁面に先行手すりを設置



3 ⑥ 足場の後踏み側の桁面に2層目の先行手すりを設置

緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。

4 ⑦ 床付き布枠の設置

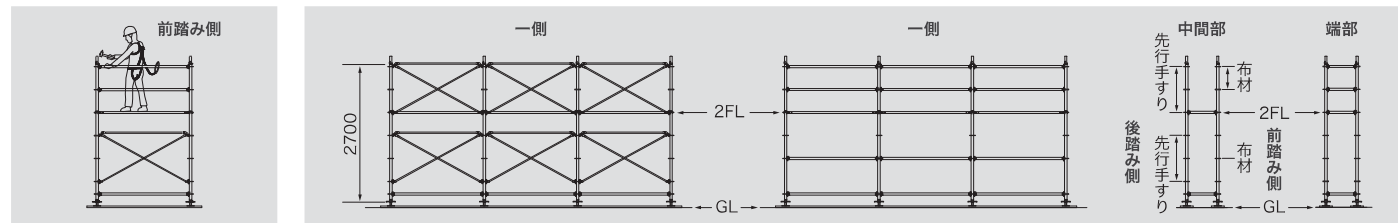


2層目

- 5

⑧ 2層目足場の前踏み側の桁面の布材設置

緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。
2層目の組立てが終了した時点で最初の壁つなぎを取付けてください。 ※壁つなぎについては風荷重の算定に従い適正に設置してください。

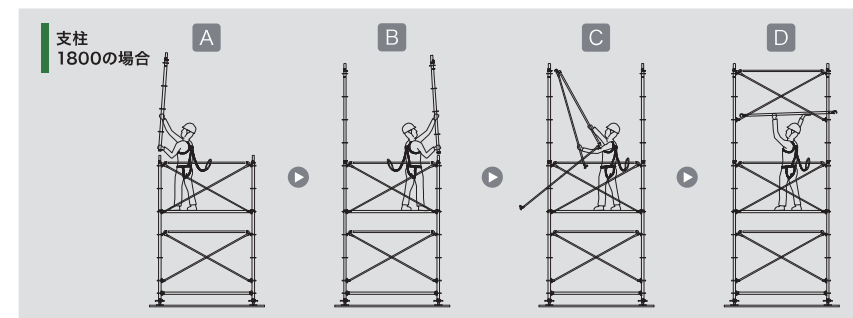


- 6

⑨ 3層目分の支柱設置

支柱は1800または3600を使用します。
抜け止めを正しくロックします。
- ⑩ 足場の外側面に3層目の先行手すりを設置
- ⑪ 3層目の床付き布枠の設置

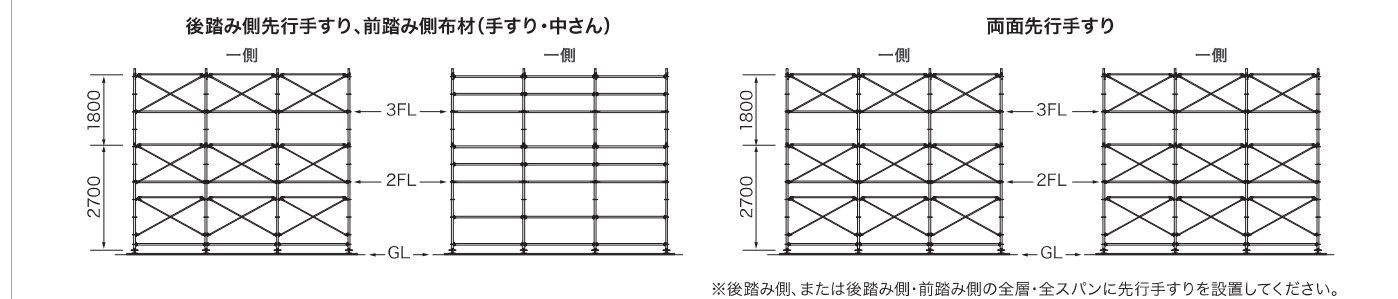
緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。



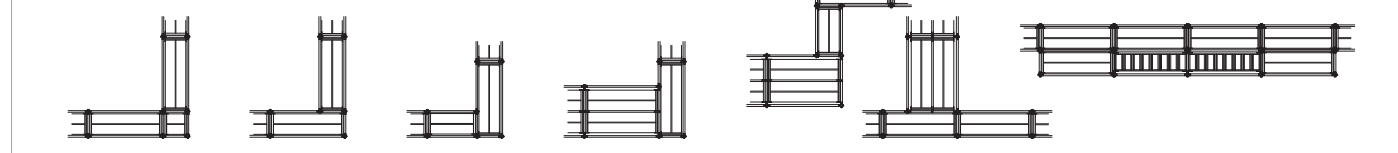
3層目以上

- ⑫ 3層目以上の足場の組立は、作業手順 5・6 の繰り返しとなります。
- 解体は作業手順を逆に行います。

外部足場の標準的な設置方法



コーナー部・入り隅・出隅の割付参考例



- 各システムの設置・使用方法に関しては各組立基準、使用基準を参照してください。
- 一般事項については仮設工業会「くさび緊結式足場の組み立て及び使用に関する技術基準」に従ってください。
- 足場板は支柱との距離が12cm未満になるように配置して固定してください。
- 風荷重については通常の足場と同様にご計算ください。
- 法規上は本製品はその他鋼管足場(単管足場)に分類されます。
- 計画・設計、強度計算、その他の技術的なお問い合わせは弊社各支店までお問い合わせください。

製品の仕様・外観については予告なく変更する場合があります。

安衛則改正により31メートル以上の足場も2本組み不要に

平成27年7月1日に新しい労働安全衛生規則が施行されました。この改正により従来の制約条件であった「強度の有無に関わらず、高さ31mを超える単管(類の)足場は最高部から31mを超える部分を必ず二本組みにしなければならない」基準が緩和され、それぞれの足場の実験データに基づく支柱許容荷重に応じて、可能な高さまで組めることになりました。

足場条件により差異はありますが、アルバトロスは支柱の補強なしで45m以上の足場の設置が可能です。また、自重の大きくなる梁枠開口部や荷受けステージ等の部分は簡単に後付けできる強化方づえで必要な部分、必要な期間のみ強化することが可能です。

○労働安全衛生規則 第五百七十一条

三 建地の最高部から測って三十一メートルを超える部分の建地は、鋼管を二本組とすること。ただし、建地の下端に作用する設計荷重(足場の重量に相当する荷重に、作業床の最大積載荷重を加えた荷重をいう。)が当該建地の最大使用荷重(当該建地の破壊に至る荷重の二分の一以下の荷重をいう。)を超えないときは、この限りでない。

○厚生労働省 労働基準局長 基発0331第9号7 第571条関係について (3) 抜粋

また、鋼管にフランジ、フック等の緊結部を溶接することにより、緊結金具を使用せずに組み立てることができる単管足場では、当該足場を組み立てた状態での支持力試験を実施した結果から、建地に破壊に至る荷重の2分の1以下の荷重を許容支持力として示されており、これを最大使用荷重として用いて差し支えないこと。この場合、布材、補剛材等の使用条件に応じて支持力結果が異なることから、当該布材、補剛材等の使用条件に応じた最大許容荷重を用いること。